

主題セッション

「消化管疾患の病態形成におけるバリア機能と微小炎症」

司会 永原 章仁（順天堂大学医学部消化器内科）

大島 忠之（兵庫医科大学消化器内科学）

消化管は巧妙な粘膜バリアによって体の内と外が完全に区別されているが、種々の疾患でこのバリアは障害され、肉眼的に明らかな粘膜変化を伴う疾患から明らかなでない疾患まで様々である。近年、消化管粘膜上皮や粘液、腸内細菌、粘膜内の微小炎症がこのバリア機能および病態に影響を及ぼしていることが明らかとなってきた。本主題セッションでは、消化管疾患の粘膜バリアおよび粘液、腸内細菌、微小炎症に関わる積極的な演題を募り、大いに議論したい。斬新な演題応募を期待している。